

本学学生対象の歯科健診を実施

本学では新入生を対象に、2014 年度（平成 26 年）から歯科健診を実施しています。今年で **7 回目** になりますが、今年は COVID-19 の影響で実施時期が遅くなり、規模も縮小して、口腔保健学科の学生 76 名を対象に 11 月 26 日に感染予防対策を施して、DHPC 室（臨床歯科実習室）を利用して実施しました。

本学の歯科健診では、高校まで行われてきた歯科健診よりも、より専門的な観点から、口腔保健学科専任の歯科医師教員 2 名より次の項目を診査します。

- お口の中に何本歯が生えているか（永久歯は 28 本）
- 治療した歯は何本あるか、詰め物の種類は何か
- むし歯になってしまっている歯はあるか
- 歯並び（がたがたや隙間の状態）、前歯の前後的・垂直的關係はどうか
- 奥歯の噛み合わせはしっかりしているか（3 種類に分類）
- 歯ぐきの健康状態はどうか（3 段階評価）や出血はしていないか
- 歯の表面についている汚れの状態はどうか（3 段階評価）
- 顎（あご）の関節の状態はどうか（3 段階評価）
- 歯垢・歯石の有無、歯周ポケットの深さはどうか

歯科健診後、アンケートと健診の結果ならびに、歯の汚れ具合を赤い染め出し液で確認し、口腔保健学科専任の歯科衛生士教員による個別歯科保健指導を実施しました。また、今回は、国家試験の勉強で忙しい中、口腔保健学科の 3 年生がボランティア参加し、後輩をやさしくエスコートしてくれました！

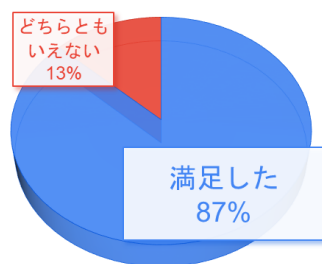
いつもは講義をしている姿しか見ない先生が、真剣な眼差しで自分たちの口腔内を診査し、ブラッシング指導をしている様子や、3 年生がその手伝いをしている姿は、新入生に今まで受けてきた歯科健診とは異なる新鮮な刺激になったことでしょう。

正しい歯磨き習慣を身につけることは、う蝕（むし歯）や歯周病の予防につながるだけでなく、全身の健康にもつながります。今回の健診が、新しく始まった大学生活の中で、これからの食習慣や生活習慣や健康を見直すきっかけになれば幸いです。

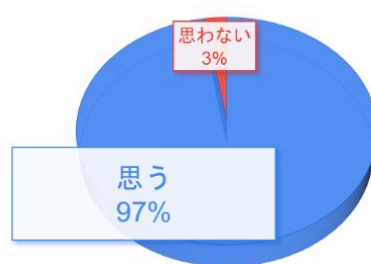
附属の歯科診療所では、歯科健診、健診後のフォローアップや歯のクリーニングなどを行っていますので、まずは、お気軽にご相談ください。

（文責：川野・浅枝・八木）

歯科健診を受けていかがでしたか？



来年も大学で歯科健診があれば受けようと思いますか。



【実施後アンケート結果から抜粋】



【実施中の様子】